

東邦大学医療センター佐倉病院臨床研修プログラム

佐倉・選択専攻科目

泌尿器科（1～10ヶ月）

1 目的と特徴GIO

泌尿器科疾患は、排尿障害、尿路腫瘍、感染症、尿路結石、不妊症など多岐にわたる。比較的高齢者患者が多いことより、合併症などへの対応も必要なことが多い。このような尿路・生殖器疾患の病態生理と特殊性を理解し、科学的根拠にもとづいた医療を実践するとともに、幅広い人間形成を行い、チーム医療に参加する姿勢を身につける。研修医の将来の専門性にかかわらず、医師として泌尿器科疾患に適切に対応できる基本的な診療能力（態度、技能、知識）を理解することをGIOとする。

2 プログラム管理運営体制

東邦大学医療センター佐倉病院泌尿器科・泌尿器腹腔鏡センターのスタッフ会議にて、本プログラムの管理、運営を検討する。必要に応じて、研修協力病院の指導責任者の参加も求める。プログラム内容や運営に問題が生じたときは合議の上で修正や変更を行い、必要に応じて指導医を対象とした会を開催して情報の伝達やアドバイスをを行う。

3 教育課程

3-1 研修期間と研修医配置予定

選択専攻での研修期間は1～10ヶ月である。

この間の研修病院の移動は、原則として認めない。

東邦大学医療センター佐倉病院泌尿器科病棟・外来・手術室などに配置される。指導医の下で病棟の患者を担当し、必要な検査や外来診療にも関与する。手術や各種処置などにも、指導医の指示のもと、積極的に参加していただく。

3-2 到達目標

3-2-1 行動目標SBO

- 1) 泌尿器疾患における重要な症状を理解し、適切な身体診察を行うことができる。
- 2) 状態に応じた適切な検査を選択することができる。
- 3) 鑑別診断と重症度の評価を行うことができる。
- 4) エビデンスに基づいた治療法の選択への思考、および各種治療法の特徴を理解できる。
- 5) 指導医の下で、泌尿器科処置および簡単な手術を施行できる。

3-2-2 経験目標SBO+LS

3-2-2-A 経験すべき診察法・検査・手技

- 1) 問診にて重要な泌尿器疾患の可能性を考えることができる。
- 2) 身体診察にて泌尿生殖器の所見を記載できる。
- 3) 代表的な泌尿器疾患の画像所見を理解できる。
- 4) 膀胱鏡（硬性鏡および軟性鏡）を実施できる。
- 5) 代表的な泌尿器疾患の典型的な超音波断層撮影の所見を理解できる。
- 6) 導尿などの泌尿器科処置を実施できる。
- 7) 注射法（皮内、皮下、筋肉、点滴、静脈確保）を実施できる。
- 8) 内視鏡手術（経尿道的・経尿管的）に参加し、その手技を指導医の監督下に、施行もしくは補助する。
- 9) 開腹手術（前立腺）に参加し、その手技を指導医の監督下に、施行もしくは補助する。
- 10) 腹腔鏡手術（腎・副腎）に参加し、その手技を指導医の監督下に、施行もしくは補助する。
- 11) ESWLに参加し、その手技を指導医の監督下に、施行もしくは補助する。

3-2-2-B 経験すべき症状、病態、疾患

- 1) 尿閉
- 2) 尿失禁などの排尿障害
- 3) 泌尿器腫瘍（腎癌・膀胱癌・前立腺癌・精巣腫瘍）
- 4) 顕微鏡的および肉眼的血尿
- 5) 泌尿器外傷（腎損傷、尿道損傷）
- 6) 尿路結石症
- 7) 尿路および生殖器の感染症（腎盂炎・膀胱炎・前立腺炎・尿道炎）
- 8) 幼児・思春期疾患（亀頭包皮炎、包茎、停留精巣）
- 9) 腎不全（急性、慢性）

3-2-2-C 特定医療現場の経験

救急医療の現場を経験する

重症度および緊急度の把握ができる。

泌尿器救急疾患の初期治療ができる。

泌尿器専門医への適切なコンサルテーションができる。

3-2-3 評価基準

泌尿器疾患に適切に対応できる基本的な診察能力（態度、技能、知識）が修得されたかを基準として評価する。病棟看護師長、診療チームメンバー、病棟長それぞれを対象とした評価表を使用する。

3-3 勤務時間

研修期間中の勤務時間、休暇、当直に関しては東邦大学医療センター佐倉病院の規定に従うが、勤務時間は原則的に午前9時から午後6時である。しかし抄読会、症例検討会、勉強会などは勤務時間外にも行われ、また担当患者の状態によってはこの限りでない。上級医とともに泌尿器科病棟の当直にあたり、泌尿器救急疾患への対応を学ぶ。研修協力病院における勤務時間は、各病院の規定に従う。

3-4 教育行事

モーニング・カンファレンス：毎日午前 8 時から、7 階東棟泌尿器科医局②にて、入院患者および外来患者に関するカンファレンスおよび討議を行う。

手術報告・勉強会：毎週火曜日・水曜日、手術終了後（午後 4 時 30 分）から。上級医師による海外研究論文の発表やガイドライン解説の後、研修医は与えられたテーマについて発表してもらう。

講演会：東邦大学佐倉病院を中心とした周辺 5-8 施設と合同の講演会・勉強会を年 6-8 回共催している。泌尿器科の各領域のエキスパートの講演を聴講し、また、質疑を通じて、科学的思考法やプレゼンテーション能力などの向上も目指す。

3-5 指導体制

本プログラムの最終的な指導責任は、東邦大学医療センター佐倉病院泌尿器科・泌尿器腹腔鏡センターの診療科責任者にある。研修医は診療チームに配属され、担当の指導医の下でチームの一員として指導を受ける。担当の指導医以外のチームメンバーからもさまざまな指導を受けるが、当院には、専門医を有する泌尿器科医が 9 名在籍しており、直接的な指導責任はこれらの担当の指導医にある。

4 研修医個別評価

プログラム修了時に、病棟看護師長、診療チームメンバー、病棟長の評価表を参考に、泌尿器疾患に適切に対応できる基本的な診察能力（態度、技能、知識）が修得されたかを指導医が総合評価する。各種教育行事への出席状況、研修医症例発表会での内容なども評価の対象となる。